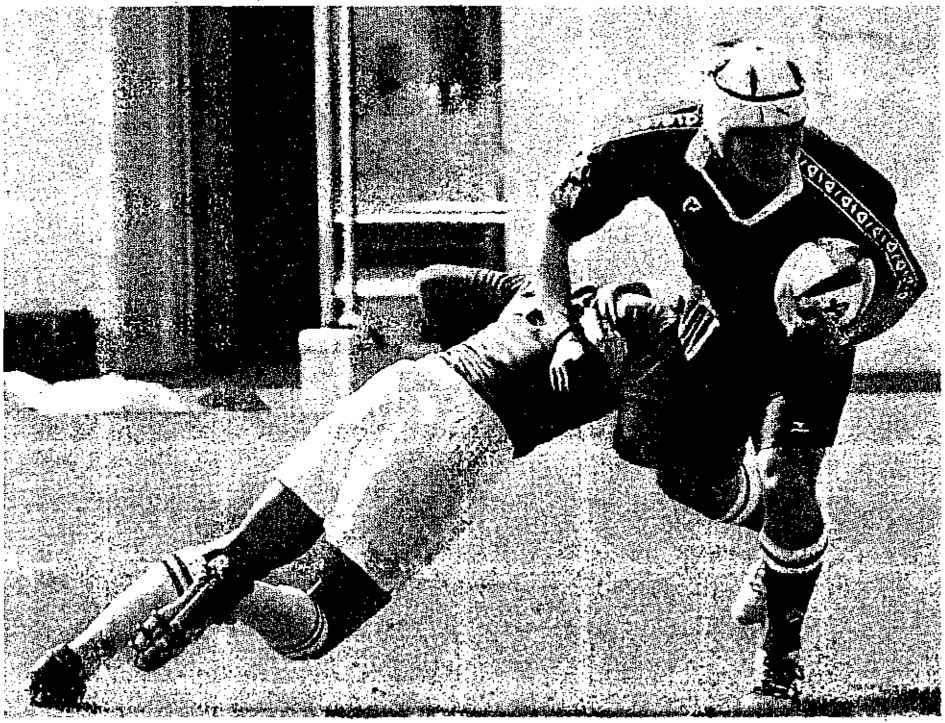
秋田南 攻守で圧倒



【１回戦・秋田南―小坂】前半４分、秋田南の遠藤（右）が左隅に先制トライを決める＝秋田市八橋球技場

全国高校

ラグビー

県予選

第86回全国高校ラグビー大会県予選は15日、11校が参加して秋田市八橋球技場で開幕した。初日は1回戦3試合を行い、金足農、秋田南が圧勝で、能代工は接戦をものにして2回戦進出を決めた。第2日のあす17日は2回戦2試合を行い、第1シードの秋田、第2シードの秋田工が登場する。

〈第１日〉

小坂から9トライ奪う

▽1回戦

秋田南　57（26―0 31―5）5　小坂

▽30分ハーフ▽キックオフ＝小坂▽レフェリー＝武藤

	T	G	P	前	T	G	P	後	計	反
秋田南	5	3	0	31	4	3	0	26	57	7
小坂	1	0	0	5	0	0	0	0	5	9

FW戦で優位に立った秋田南が、計9トライを挙げ、小坂を下した。

秋田南は、モールで起点をつくり、前半4分にFW遠藤が先制トライ。4分後には、俊足のTB桜田が相手ディフェンスをかわし追加点を奪った。その後も攻守で小坂を圧倒し、トライを重ねた。

小坂は、秋田南の厳しいディフェンスに攻めあぐね、前半終了間際の1トライに終わった。

初戦で課題はっきり

○…ゲーム開始早々からFW陣の活躍で先制トライを奪うなど、攻守で小坂を圧倒した秋田南。「つまらないミスが多かった。もっと得点できたはず」。57―5の大勝にも、沢木賢一監督は厳しい表情でゲームを振り返った。

秋田南は、当たりの強いタックルや押しの強いモールなどで、終始ゲームを支配したが、ノックオンで好機をつぶす場面も多かった。秋元創太主将（3年）が「やってはならない点だった」と語った通り、前半29分の小坂の得点も、自陣でのノックオンが原因だった。

それでも、初戦突破でチームの課題ははっきり見えた。2回戦の相手は、昨年準優勝の強豪・秋田中央。秋元主将は「きょうの反省を生かして、次は堅い試合をしたい」と気持ちを引き締めていた。

小坂		秋田南
福田		佐々木
赤坂		森元啓
栗橋		遠藤
目時		秋元
石垣		鈴木伸
菊地	FW	三浦
三ケ田		藤原
豊田		牛越
虎渡	HB	鎌田
川田		鈴木康
松本	TB	大森
中村裕		岡部
熊谷		葛木
木村優		桜田
米田	FB	加藤

▽交代＝【秋】泉（鎌田）、沢石（葛木）、宇佐美（桜田）、森元丹（泉）【小】浅石（石垣）

きのうの結果

▽1回戦

秋田南　57―5　小坂

金足農　78―7　経法大付

能代工　29―15　大館工

あすの試合

▽2回戦

秋田（13・00）金足農

能代工（14・20）秋田工

金農、経法大付に大勝

▽1回戦

金足農　78（40―7 38―0）7　経法大付

▽30分ハーフ▽キックオフ＝金足農▽レフェリー＝杉本

	T	G	P	前	T	G	P	後	計	反
金足農	6	4	0	38	6	5	0	40	78	4
経法付	0	0	0	0	1	1	0	7	7	5

FW、BKががっちりとかみ合った金足農が経法大付に大勝した。

金足農は前半1分、素早いパス回しからWTB佐々木慎が右すみに先制トライ。その後も、BKの脚力、FWの突進を生かした攻撃でトライを重ね、試合を決めた。

経法大付は終始自陣に押し込まれたが、後半17分、ゴール前でのこぼれ球をトライにつなげ、一矢報いた。

留学生2人に将来性

○…経法大付のトンガ人留学生シオーネ・ププンガトア（1年）、シオーネ・マヌ・ヴェア（1年）の2人がスタメン入りし、花園予選に初出場。随所で将来性を感じさせるプレーを披露した。

ラグビーを本格的に始めたのは高校入学後という2人だが、軽快な動きでチームの攻撃にアクセントを加えた。CTBを務めるヴェアは前半20分すぎから、強じんな足腰を生かしたフットワークで中央突破を繰り返し、攻撃陣をけん引した。

チームの敗退に「3年生と一緒に勝てなくて残念」と表情を曇らせた2人だが、今後に向けては、「一生懸命練習を頑張りたい」と声をそろえる。来年の秋田わか杉国体でも活躍が期待される2人は更なる高みを目指すことを誓った。

経法付		金足農
松永		工藤
加藤		佐藤
長谷部		渡辺
田村		松橋
ププン		永井
相馬	FW	伊藤豊
安藤		伊藤大
小松		柴田
阿蘇	HB	石井
佐藤駿		高橋
遠藤	TB	加賀谷
ヴェア		小山田
泉田		目黒
佐藤公		佐々木慎
石川	FB	近藤

▽交代＝【金】菅原（加賀谷）、佐々木公（近藤）、石井和（佐々木慎）、三浦（伊藤豊）、原田（工藤）【経】安彦（小松）、工藤（加藤）、小山田（安藤）、村上（ヴェア）

能代工攻め多彩

大館工振り切る

▽1回戦

能代工　29（7―10 22―5）15　大館工

▽30分ハーフ▽キックオフ＝能代工▽レフェリー＝北嶋

	T	G	P	前	T	G	P	後	計	反
能代工	4	1	0	22	1	1	0	7	29	10
大館工	1	0	0	5	2	0	0	10	15	19

FW戦、素早い球回しからの中央突破と多彩な攻めを見せた能代工が大館工に競り勝った。

能代工は5―5の前半9分、ラインアウトからモールを押し込み勝ち越しに成功。7点差に詰め寄られた後半には、ターンオーバーからWTB伊藤康がトライを決め、試合を決めた。

大館工は後半、FWの踏ん張りで2トライを挙げたが、あと一歩届かなかった。

勝利にも渋い表情

○…能代工が大館工との県北対決を制し、2回戦進出を決めた。勝利は収めたものの、後半追い上げられる展開に伊東真吾監督は「よく頑張ったが、これまでやってきたことは出し切れなかった」と渋い表情を見せた。

強力FWを擁する大館工との対戦を前に、モールの際、相手のひざを目標にした低いタックルを繰り出すことを選手間で確認しあった。しかし、後半は大館工にラインアウトからのモールで押し負ける場面が目立ち、劣勢に立たされた状況での試合が続いた。

梅田敏行主将（3年）は「FWが目標としていたプレーができなかった。きょうはBK陣に感謝です。次はFWで頑張らないと…」と反省しきりだった。

大館工		能代工
浪岡		児玉恭
村上		佐藤優
金谷		七尾
菅原		梅田浩
吉原		成田
若狭	FW	菊池
畠山智		大塚
武田		梅田敏
渡辺	HB	田森
花岡		児玉博
芳賀	TB	木藤
中村		伊藤栄
佐々木総		中野
野呂		伊藤康
長谷部	FB	岸部